

鉄道ピクトリアル

1968年5月号 Vol. 18 No. 5



カット 土屋 昭雄 画

表紙 「春の魁」(成田電化完成) 岸 幸男 撮影

カラー頁 「菜種の頃」(第12回鉄道写真コンクール作品) 松岡 慶一 撮影

グラフ

| | | |
|--------------------------------------|-----------------------------|----|
| 東急田園都市線長津田につくし野間開通 | 久原 秀雄・編集部 | 11 |
| 成田電化開業と試運転点描 | 白土 貞夫・浜名 賢一・編集部 | 12 |
| 丸森線(楓木一丸森間)開通 | 長田 寛 | 14 |
| 信濃川発電所工事線 車両のおもかげ | 瀬古 龍雄 | 16 |
| 国鉄信濃川発電所工事再開 | 国有鉄道提供 | 18 |
| 第12回鉄道写真コンクール作品集 | | |
| 薰風 | 天野 洋 | 43 |
| 田植のころ | 安藤 征一・菊池 正雄 | 44 |
| 五月の吳線 | 下川 隆利 | 46 |
| ソビエト近況(1)電気機関車 | ノーボスチ通信社提供 | 48 |
| 黒煙天にとどけ(2頁大・解説34頁) | 浮揚 利夫 | 50 |
| 欧洲の第一線に活躍する機関車シリーズ〔7〕DRB,DB,DRの蒸気機関車 | 峰岸 彰 | 52 |
| 新生の息吹に燃える奈良運転所 | 関西大学鉄道同好会 | 54 |
| 富士急行(終) | 中川 浩一・青木 栄一・島岡 淳 | 56 |
| 神戸高速鉄道開通前夜 | 川島 令三・阪神電鉄・山陽電鉄 | 58 |
| トピックフォト | (九州・中国、関西、東海・中部、関東、信越・東北など) | 83 |

本文

| | | |
|---------------------------------|-----------|----|
| 今月の話題・大手私鉄のATS 4月から大幅使用開始 | 編集部 | 3 |
| 43年の国鉄電化予定 | 平松 和雄 | 4 |
| 43年度国鉄線増計画の大要 | 立石 巍 | 8 |
| 東急田園都市線“つくし野”開通 | 久原 秀雄 | 19 |
| 国鉄信濃川水力発電所工事再開 | 小島 良三 | 20 |
| 信濃川水力発電所工事 材料運搬線とその車両 | 瀬古 龍雄 | 24 |
| ソビエトの電気機関車 | 千野 琢也 | 28 |
| 東北・伊豆地方70年待望の丸森線開業 | 長田 寛 | 31 |
| 鉄道の話題 | | 34 |
| 私鉄高速電車発達史〔17〕 | 中川 浩一 | 35 |
| 資料・日本の私鉄〔19〕 | 和久田康雄 | 39 |
| 台上試験にこぎつけたガスタービン | 木村 敬 | 59 |
| 私鉄ATS評説 | 曾根 哲 | 62 |
| 欧洲の第一線級機関車〔7〕DRB,DB,DRの蒸気機関車 | 峰岸 彰 | 66 |
| 書評⑩「歌でつづる鉄道百年」 | 和久田康雄 | 70 |
| 宮城バス登米線開業 | 鈴木 洋 | 70 |
| 私鉄車両めぐり〔74〕「富士急行」(終) | | |
| 井上 幹治・今城 光英・加藤 新 | 71 | |
| 私鉄車両めぐり〔73〕「南海電気鉄道補遺」藤井 信夫・吉川 寛 | 75 | |
| 運転所を訪ねて〔6〕「奈良運転所」 | 関西大学鉄道同好会 | 76 |
| 質問に答える | | 78 |
| 車両の動き | | 80 |
| 3月のメモ帳 | | 82 |
| 読者短信 | | 92 |
| T T Kだより・後部車から | | 95 |

大手私鉄のATS 4月から

大幅使用開始

大手私鉄のATSは、名古屋鉄道が39年12月、豊橋—岐阜間99.8キロをトップに42年9月までに13線区410.3キロを完成したのに止まっていたが、42年7月に発生した南海電鉄天下茶屋での大事故をきっかけに、運輸省から早期完了を指示されていたことは周知のとおりである。

自來各社は積極的に工事を進め、4月1日現在で私鉄16社(大手14社に相模鉄道および山陽電鉄を含む)のATS使用区間は1,220キロに達し、運輸省が指示した区間760キロの60%も大幅に上回るに至り、さらに4月中旬に約50キロが完成、5月1日は1,270キロ、運輸省指示の約1,300キロに対し97%に達する見込み。

16社のうち、4月1日から使用開始したのは、京成上野線上野一東中山間21.6, 押上線押上—青砥間5.7, 東武伊勢崎線浅草—新木戸間89.0, 東上線池袋—志木間17.9, 西武池袋線池袋—清瀬間19.7, 新宿線西武新宿—田無間17.4, 京王帝都京王線新宿—桜上水間7.0, 小田急小田原線新宿—向ヶ丘遊園間15.8, 東急渋谷—桜木町間26.3, 京急品川—金沢文庫間39.5, 相模横浜—二俣川間10.5, 南海南海線難波—和歌山市間66.4, 高野線難波—河内長野間27.3, 阪急宝塚線梅田—石橋間13.8, 西鉄大牟田線大橋—春日原間4.8, 合計422.7キロで、全使用区間の約35%が一齊開始したことになる。

ATSが完備したとしても、私鉄の運転事故が今後皆無と判断するのは早計だが、少なくとも私鉄各社が保安設備にこれだけ熱意をもって対処したことだけは高く評してよい。

〔表紙〕「春の魁」(成田電化完成)
岸 幸男 撮影
祝賀列車101系7連 成田駅
'68.3.26

マミヤプレス セコール150mm 絞り5.6
タイム1/25 エクタクローム

〔カラー頁〕「菜種の頃」(第12回
鉄道写真コンクール作品)

松岡 慶一 撮影
730D 貴生川—三雲間 '67.4.30

マミヤC3 セコール105mm F3.5 絞り11
タイム1/125 フィルターUV エクタクロームX

TETSUDÔTOSHO KANKOKAI
New Kokusai Bldg. Marunouchi
3-4, Chiyodaku, Tôkyô/Japan